

学校の授業で企業の教育プログラムを活用 ～小学校との連携事例紹介～

企業やNPO等の専門的な教育プログラムを学校の授業や放課後活動、地域活動等に効果的に導入するため、東京都では「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」を設置し、会員団体の教育プログラムを学校や教育支援コーディネーターに紹介しています。

企業やNPO等が、専門分野を生かした教育プログラムを作成していますが、地域教育推進ネットワーク東京都協議会の会員団体である「NPO法人企業教育研究会」(以下、「企業教育研究会」という。)は、企業と連携し、授業で活用できるプログラムづくりを専門とするNPOです。

企業のプログラム例、そしてどのように連携を進めているのか、紹介します。

ソニー・インタラクティブエンタテインメント×企業教育研究会

プログラム名「キャラクターのジェスチャーを考えよう！」

対象:小学校5、6年生

外国語活動を対象とした出張授業で、企業教育研究会スタッフが進行役、ソニー・インタラクティブエンタテインメント(以下、「SIE」という。)の社員が解説役を務めます。

- まずゲーム会社の“BOSS”からテレビ電話がかかります。教室にいるみんなに「『Everybody's GOLF』というゲームを遊んでみてほしい。」と英語で語りかけます。
- 『Everybody's GOLF』は日本で開発された『みんなのGOLF』のことで、実は、ヨーロッパやアメリカなど様々な国々でも、日本語を英語に置き換えて発売されています。しかも、言語だけでなくその国の流行や好みに合わせて内容やパッケージのデザインが変わっています。多くの国でゲームを遊んでもらうためにもSIEでは様々な国の人が働いていて、英語がとても大事だということを解説役の社員が伝えます。
- 再び“BOSS”に電話をかけると、「海外版に新しいゲームキャラクターを登場させるため、そのジェスチャーを考えてほしい。」というミッションが届きます。



- “BOSS”の依頼に応えるため、グループ活動を開始します。キャラクターの性格と単語の発音をヒントに、各ホールを終えた後の「とてもうれしい」「まあまあうれしい」「悔しい・悲しい」といったジェスチャーを考えます。考えたジェスチャーはビデオに録画し、“BOSS”に届けると約束して授業は終了します。
- 後日、“BOSS”からビデオメッセージが届きます。「みんなありがとう。英語では、コミュニケーションを取るとき、身振り手振りで思いを表すことも大事だ。そのことを覚えておいてね。そうすれば、世界中の人ともコミュニケーションがとれるはずさ。その調子でがんばってね。Bye!」

子供たちが好きな「ゲーム」を題材に、ジェスチャーの大切さや外国の文化を学ぶ授業です。

教育支援コーディネーター・フォーラムを開催、サイトで教育プログラムを紹介しています。

平成29年12月10日に、教育プログラムを提供する企業やNPO等と、教育支援コーディネーターが出会う場である「第11回教育支援コーディネーター・フォーラム」を開催しました。

フォーラム当日に出展した50団体を含む80の会員団体の教育プログラムを、地域教育推進ネットワーク東京都協議会のサイトで紹介しています。



<http://www.syougai.metro.tokyo.jp/sesaku/schooling.html>

東京都 ネットワーク



企業教育研究会と連携してプログラムを開発、提供している日本アイ・ビー・エム株式会社(以下「IBM」という。)の小川愛さん(マーケティング&コミュニケーションズ社会貢献部長)にお伺いしました。

□出張授業のプログラムで 大切にされていることは？

企業として児童生徒に伝えたいことはたくさんあります。ただ、一方的にそれを押し付けるのではなく、学習指導要領に沿って、実施学年や単元に合わせた内容として授業で活用してもらえるプログラムであること、そして、IBMでなければならない内容のプログラムであることを重視しています。授業の進行は企業教育研究会のスタッフに行ってもらいますが、必ず社員が参加し、キャリア紹介の内容も入るように意識しています。

□どのように連携してプログラムを開発するのでしょうか。

私が担当となってから、データの分析をテーマとしたプログラムを1年ほどかけて作りました。IBMとして提供したいテーマを企業教育研究会と話し合い、中学生にも親和性が高い未来の学校の生徒会長選挙を題材にしました。開発に当たってはデータ分析の担当者も一緒にシナリオの内容、授業の組み立

て等を検討しました。生徒が楽しく参加する場面、きちんと学ぶ場面を組み合わせ、生徒の理解が進むように授業内容や教材を作っていただき、パイロット実施を経て、プログラムを提供しています。これは、企業だけではできないことです。

□出張授業を通じて、児童生徒に学んでほしいことは

例えば数学の見方が変わる、文系でも必要な内容だと分かるといった、視野を広げる場、そして社会と学校の学びとのつながりを実感できる場にしたいと思っています。先生方からは「生徒が生き生きとした表情をして授業を受けていました。」と授業後に感想を頂きますが、私たちの出張授業を前後の授業とつなげ、学習効果があるものにしていただくことは先生にしかできません。是非、先生方からの御意見を頂き、より良い内容にしていきたいと思っています。

企業教育研究会の紹介



団体概要

- 学校内だけでは出会えない「リアルな社会とのふれあい」を子供たちへ！
- 企業、学校、学生とともに「誰もが教育に貢献する社会」を目指して！

というのが私たち、企業教育研究会の願いです。教育に貢献したい「企業」、社会とつながりたい「学校」、教育や社会について学びたい「学生」らの架け橋となりながら、専門とする「授業作り」を通して「誰もが教育に貢献する社会」の実現を目指しています。

事業紹介

出張授業では、教科で学ぶ学習内容と、実際の企業や社会の中で行われている活動とのつながりを実感することができるプログラムを数多く開発・実施しています。講演ではなく、子供たちが考え、体験をする場面を重視しています。キャリア教育の授業や、教科でも位置付けて実施できます。事前に、電話等で授業を行う目的やねらいなどを伺い、出張授業を行っています。現在、小学校で活用できるプログラムは、10種類あります。

また、先生方から、社会の変化に伴い、授業で指導したいことも常に新しい課題が出てきているという声も聞きます。情報モラルや食育のほかにも、最近では、学校では入手できない特別な材料を用いた化学実験などの教材も開発しています。教材DVDや指導案をまとめた冊子の送付や、学校や教育委員会等が行う教職員研修で模擬授業を体験していただくための講師派遣もしています。

これらの活動は、企業の社会貢献活動や広報活動として行うため、学校等から交通費や謝金などをいただくことはありません(授業の前後にアンケート等への御協力をお願いすることがあります。)



サイトを御覧ください

出張授業や教材配付、研修会への講師派遣等については、企業教育研究会のWebサイトから御覧いただけます。是非一度、私たちの「実践中の活動」を御覧ください！

URL: <https://ace-npo.org/wp/archives/project>
 所在地: 〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-1-15 STR東日本橋4F(東京オフィス)
 電話番号: 03-5829-6108 (平日10:00~18:00)



企業教育研究会と連携してプログラムを開発、提供している日本アイ・ビー・エム株式会社(以下「IBM」という。)の小川愛さん(マーケティング&コミュニケーションズ社会貢献部長)にお伺いしました。

□出張授業のプログラムで 大切にされていることは？

企業として児童生徒に伝えたいことはたくさんあります。ただ、一方的にそれを押し付けるのではなく、学習指導要領に沿って、実施学年や単元に合わせた内容として授業で活用してもらえるプログラムであること、そして、IBMでなければならない内容のプログラムであることを重視しています。授業の進行は企業教育研究会のスタッフに行ってもらいますが、必ず社員が参加し、キャリア紹介の内容も入るように意識しています。

□どのように連携してプログラムを開発するのでしょうか。

私が担当となってから、データの分析をテーマとしたプログラムを1年ほどかけて作りました。IBMとして提供したいテーマを企業教育研究会と話し合い、中学生にも親和性が高い未来の学校の生徒会長選挙を題材にしました。開発に当たってはデータ分析の担当者も一緒にシナリオの内容、授業の組み立

て等を検討しました。生徒が楽しく参加する場面、きちんと学ぶ場面を組み合わせ、生徒の理解が進むように授業内容や教材を作っていただき、パイロット実施を経て、プログラムを提供しています。これは、企業だけではできないことです。

□出張授業を通じて、児童生徒に学んでほしいことは

例えば数学の見方が変わる、文系でも必要な内容だと分かるといった、視野を広げる場、そして社会と学校の学びとのつながりを実感できる場にしたいと思っています。先生方からは「生徒が生き生きとした表情をして授業を受けていました。」と授業後に感想を頂きますが、私たちの出張授業を前後の授業とつなげ、学習効果があるものにしていただくことは先生にしかできません。是非、先生方からの御意見を頂き、より良い内容にしていきたいと思っています。

企業教育研究会の紹介



団体概要

- 学校内だけでは出会えない「リアルな社会とのふれあい」を子供たちへ！
- 企業、学校、学生とともに「誰もが教育に貢献する社会」を目指して！

というのが私たち、企業教育研究会の願いです。教育に貢献したい「企業」、社会とつながりたい「学校」、教育や社会について学びたい「学生」らの架け橋となりながら、専門とする「授業作り」を通して「誰もが教育に貢献する社会」の実現を目指しています。

事業紹介

出張授業では、教科で学ぶ学習内容と、実際の企業や社会の中で行われている活動とのつながりを実感することができるプログラムを数多く開発・実施しています。講演ではなく、子供たちが考え、体験をする場面を重視しています。キャリア教育の授業や、教科でも位置付けて実施できます。事前に、電話等で授業を行う目的やねらいなどを伺い、出張授業を行っています。現在、小学校で活用できるプログラムは、10種類あります。

また、先生方から、社会の変化に伴い、授業で指導したいことも常に新しい課題が出てきているという声も聞きます。情報モラルや食育のほかにも、最近では、学校では入手できない特別な材料を用いた化学実験などの教材も開発しています。教材DVDや指導案をまとめた冊子の送付や、学校や教育委員会等が行う教職員研修で模擬授業を体験していただくための講師派遣もしています。

これらの活動は、企業の社会貢献活動や広報活動として行うため、学校等から交通費や謝金などをいただくことはありません(授業の前後にアンケート等への御協力をお願いすることがあります。)



サイトを御覧ください

出張授業や教材配付、研修会への講師派遣等については、企業教育研究会のWebサイトから御覧いただけます。是非一度、私たちの「実践中の活動」を御覧ください！

URL: <https://ace-npo.org/wp/archives/project>
 所在地: 〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-1-15 STR東日本橋4F(東京オフィス)
 電話番号: 03-5829-6108 (平日10:00~18:00)



学校の授業で企業の教育プログラムを活用 ～小学校との連携事例紹介～

企業やNPO等の専門的な教育プログラムを学校の授業や放課後活動、地域活動等に効果的に導入するため、東京都では「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」を設置し、会員団体の教育プログラムを学校や教育支援コーディネーターに紹介しています。

企業やNPO等が、専門分野を生かした教育プログラムを作成していますが、地域教育推進ネットワーク東京都協議会の会員団体である「NPO法人企業教育研究会」(以下、「企業教育研究会」という。)は、企業と連携し、授業で活用できるプログラムづくりを専門とするNPOです。

企業のプログラム例、そしてどのように連携を進めているのか、紹介します。

ソニー・インタラクティブエンタテインメント×企業教育研究会

プログラム名「キャラクターのジェスチャーを考えよう！」

対象:小学校5、6年生



外国語活動を対象とした出張授業で、企業教育研究会スタッフが進行役、ソニー・インタラクティブエンタテインメント(以下、「SIE」という。)の社員が解説役を務めます。

- まずゲーム会社の“BOSS”からテレビ電話がかかります。教室にいるみんなに「『Everybody's GOLF』というゲームを遊んでみてほしい。」と英語で語りかけます。
- 『Everybody's GOLF』は日本で開発された『みんなのGOLF』のことで、実は、ヨーロッパやアメリカなど様々な国々でも、日本語を英語に置き換えて発売されています。しかも、言語だけでなくその国の流行や好みに合わせて内容やパッケージのデザインが変わっています。多くの国でゲームを遊んでもらうためにもSIEでは様々な国の人が働いていて、英語がとても大事だということを解説役の社員が伝えます。
- 再び“BOSS”に電話をかけると、「海外版に新しいゲームキャラクターを登場させるため、そのジェスチャーを考えてほしい。」というミッションが届きます。



- “BOSS”の依頼に応えるため、グループ活動を開始します。キャラクターの性格と単語の発音をヒントに、各ホールを終えた後の「とてもうれしい」「まあまあうれしい」「悔しい・悲しい」といったジェスチャーを考えます。考えたジェスチャーはビデオに録画し、“BOSS”に届けると約束して授業は終了します。
- 後日、“BOSS”からビデオメッセージが届きます。「みんなありがとう。英語では、コミュニケーションを取るとき、身振り手振りで思いを表すことも大事だ。そのことを覚えておいてね。そうすれば、世界中の人ともコミュニケーションがとれるはずさ。その調子でがんばってね。Bye!」

子供たちが好きな「ゲーム」を題材に、ジェスチャーの大切さや外国の文化を学ぶ授業です。

教育支援コーディネーター・フォーラムを開催、サイトで教育プログラムを紹介しています。

平成29年12月10日に、教育プログラムを提供する企業やNPO等と、教育支援コーディネーターが出会う場である「第11回教育支援コーディネーター・フォーラム」を開催しました。

フォーラム当日に出展した50団体を含む80の会員団体の教育プログラムを、地域教育推進ネットワーク東京都協議会のサイトで紹介しています。



<http://www.syougai.metro.tokyo.jp/sesaku/schooling.html>

東京都 ネットワーク

